

・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。  
・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。  
点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

## ロープ

### ユーザー情報

氏名

住所

ユーザーID

### PPE情報

製品名

個別番号

製造年

購入日

初回使用日

製造者: Petzl, ZI Cidex 105A - 38920 Crolles - France



異常なし (G)



注意が必要 (TM)



修理が必要 (TR)



使用不可、廃棄 (R)

N/A

該当なし

#### 1.製品履歴の把握

使用状況、使用中に生じた特殊な状況 (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等):



N/A

#### 2.予備的観察

- 個別番号と CE マークが付いていること及び判読できることを確認してください。
- 耐用年数が過ぎていることを確認してください。
- 新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

#### 3.外皮の状態の確認

- 外皮の状態の確認は、ロープの長さ全体を通して行います。切れ目、熱による損傷、繊維のほつれや損傷、毛羽立ち、化学薬品との接触による損傷等がないことを確認してください。

#### 4.芯の状態の確認

- ロープ全体を手に通し、芯の状態を点検してください (図参照)。触診をすることにより、芯にダメージを受けている箇所 (かたい、膨張している、柔らかい、潰れている等)を見つけることができます。

#### 5.プラスチックスリーブおよび縫製処理済みの末端の確認

- プラスチックスリーブの状態 (摩耗、切れ目等) を確認してください。
- 縫製処理済みの末端および安全に関わる縫製の状態を、ロープの両側について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。

#### 6.ロープの長さおよびミドルマークを確認してください。

- 以下の手順に従ってロープの長さを確認してください:
  - ロープを完全にほどいてください。
  - ロープのミドルマークを確認してください。ロープのミドルマークを簡単に見つける方法があります: 2つのロープ末端を一緒に手に持ち、2本のロープを同時に手の中で、ロープの中央に届くまでスライドさせます。ミドルマークがある場合、その位置が正しいことを確認してください。ミドルマークの位置に問題がなければ、次の手順に進んでください。ミドルマークが正しい位置にない、またはミドルマークがない場合、ロープの中間に粘着テープを貼っておくと長さの計測が行い易くなります。
  - ロープを張ってから緩めてください。
  - ロープの長さを計測します。まず、平面 (テーブル等) に 1m のマーキングをします。このマーキングを使って、ロープの中間に達するまで 1m ずつ計測していきます。ロープの半分の長さを計測したら、その長さを2倍して全長を計算します。

コメント (確認された不具合や取られた処置について詳しく記入してください)

### 評価

使用を継続することができる

使用を継続することができない

点検者

団体名

日付

次回点検日